小学校

校内研究主題　課題に向き合い、他者と交流する中で、自分の考えを再構築しようとする子どもをめざして

根拠　昨年度の成果と課題

成果
- 前向きに話し合うことができるようになってきた。
- 楽しい、という思いがでてきた。
- グループで話し合い、自分たちの意見をまとめることになれてきた。

課題
- 決まったこと、いわれたことは積極的に、人任せにしてしまう子も見られる。
- 数名ではあっても、今後の場で自分も意見・経験を出せない子がいる。
- 学年には、話はできるが、その学びや深まりが難しい。

学校教育目標

未来をみつめ自ら力で強くたくましく生きる子の育成

目指す児童生徒の姿
1. 言葉を大切にし、自らの考えを広げ深め再構築する子　→ 学習・授業研究・校内研究会
2. 読み書きを土台の基盤的・基本的な学力を身につけた子
3. 集団の中で自分が認められていると感じ、所属感をもつ子

本校の現状と課題
- ◎全国学力学習状況調査の結果からは、どの観点においても全国平均を上回っているが、数値としては一定の力が身についている。
- △自分の思いや考えを持ち、工夫した表現活動や、自ら学び、粘り強く取り組む力や、学習に集中する力はまだまだ。

研究主任は…

4月当初は

工藤先生のクラスの**A児の様子**

- 自分の思い書くことO
- 人に考えを伝えることΔ
- つっぱる子がいる。時間がかかる
- 自分の考えの内容は話すのが苦手
- ペアでも話しにくい。なかなか話せない

研究主題の内容を確認して自分の中で課題と感じている部分に合った。日頃の授業から他教科・校内研究に繋がる学びを広げていければよいと思う。

I先生は…

学力部の先生は…

指導案がシンプルでわかりやすい。話し合いに集中していける。

4月19日　第1回校内研究全体会
- 今年度の校内研について
- 主題設定の理由
- 研究仮説について
- 指導案について

全ての教員が楽しみながら学べる校内研究にしたい！
「今年は○○の力がついた！と自信をもって言ってもらえるように」

研究主任は…

校内研究 自己分析シート
- 個人の課題の設定
- 個別最適の学び

ワールドカフェ形式の研究会
- 他学年や他の先生方、多くの人たちと話合う場
- 協働的な学び

全体の成果と課題は毎年見えてきたが…
教師は「子どもに学ぶ」と言えているのだろうか？

グループで→全体交流の流れの学びは共通の話題があったりして、子どもたちの多様な考えに気付くことができた。

5月2日　プロジェクト研究会①

学級のうちも学ぶ学級内の課題の課題を見つけることができた。学級内のもう一人のパートナーとつながれたらいいなと思った。

ワールドカフェ形式で話の広がりがあった。

授業考えるときに自分のするべきことはきちんとわかりやすい!!

自分の目標をマイ目標に

自分はまだまだ考察不足だと思ったが、学級内のパートナーとは自分より先輩だったりいろいろな考えがでてきたりしてよかった。

授業考えるときに自分のするべきことはきちんとわかりやすい!!

研究以外での学びの場があるといいのでは

5月22日　プロジェクト研究会②　パワーアップ研修①

実践を通して

- 授業を工夫し、話合いや様子
- 1人1発表は難しいが、発表中が一緒なら話せる

学んだこと
- 時間授業にのみあわせてやってもだめ。
- 長期的にみて子どもたちが成長していくことが大切。
- 学んだことを子どもたちに伝えていくことが大切。
- 授業に学んだことを活かしていくことが大切。

終研重要な先生たちの話が聞けるのはうれしい!!

自分たちの思いがのせられるなる。

司会・通信の輪番制
- 学級会は、校内研と連動
- 校内研は…

OJT研修による連携
- 先生方が学んだことを自分に伝える場

6月14日　第2回校内研究会　5年生　先生

◎モデリング
子どもたちが活動内容をより理解できる。

話しやすい環境をどとのえないとなる。

学んだこと
- 子どもたちが活動内容を理解できるように工夫をしていくことが大切。
- 学級内の子どもたちが、お互いに認め合う関係を築いていくことが大切。
- 学級内の子どもたちが、お互いに認め合う関係を築いていくことが大切。

毎日の授業に取り入れやすい工夫がたくさんあるなぁ。（見考ツールいろいろ）

6月20日　第3回校内研究会　6年生　先生

A児の2学期につながった。

- グループワークやペアワークで「話した…」と自ら進んで話をするようになればいい！
- 学級集団の中で、安心して自信をもって話せる場が見本になりたい!!

自分と同じ悩みをもっている先生がいらっしゃったので勇気がでました。

最後のことばにあるように「子ども目線」を大切にしてあらゆる活動に生かしたいと思えたのでよかったなぁと思います。

- 学ぶ・学びの中で、お互いに認め合う関係を築いていくことが大切。
- 学ぶ・学びの中で、お互いに認め合う関係を築いていくことが大切。
- 授業に学んだことを活かしていくことが大切。
- 学ぶ・学びの中で、お互いに認め合う関係を築いていくことが大切。

先輩教員からのアドバイスがあってよかったなぁ。

課題解決の方法などを気軽に話せたなぁ。

いろんな先生と交流できた。

8月23日　第4回校内研究全体会
1. 5月授業アンケートより
2. 1学期の成果と課題
3. 個人の課題について
4. 夏休み・秋に向けて
5. 2学期以降の教育活動について

- 学年・学級内で、子どもたちが自己肯定感を高めていけるような場をつくっていくことが大切。
- 学年・学級内で、子どもたちが自己肯定感を高めていけるような場をつくっていくことが大切。

今年は学年部で研究をしているから、学年のつながりを大切にしていきたい。

学年・学級内で、子どもたちが自己肯定感を高めていけるような場をつくっていくことが大切。

8月22日　研究会⑤

8月3日　プロジェクト研究会④　パワーアップ研修②

- 授業・学級経営の工夫
- 交流の場をつくる工夫
- 学級内・外での工夫

8月までの取組の成果
- 自分者として参加できた。
- 個別最適→自分が学びたいことを明確にできた。
- グループづくりができたことで、協働的な学びにつなげることができた。
- 学年を解体することで、他学年とのつながりが見えやすい。

先生方に「個別最適な学び」と「協働的な学び」を教えていく研修をしていたがいてもらこの事柄を通して、それぞれの学びを理解し、子どもたちへの授業をつくる際にあてはめていかなければいけないなぁ。

課題と9月以降の取組
- ワールドカフェ方式の時間確保
- 子どもたちの他者との交流の仕方の仕組む手立て
- 「個別最適」を子どもたちにも生かせるように
- 教師自身が「個別最適な学び」をさらに理解を深める。
  → 自分たちの実践を通し

授業研究会のみで学びを得ることはもったいないので、研究会・外で日々の自学級での実践につなげていくことが大切。

それぞれの立場の日々の実践をこれからも継続させていく役割り・研究主任としてがんばろう!!

授業の様子

9月20日　第5回校内研究会

10月11日　第6回校内研究会　3年生　先生

10月11日　第6回校内研究会　4年生　先生

10月25日　第7回校内研究会　2年生　先生

11月21日　幼小連携事業　1年生

1月24日・2月7日　第8・9回校内研究全体会
今年度のまとめ
次年度に向けて

児童アンケートより

児童の意識「学びの楽しさ」「自己を高める」「課題を解決する」

「校内研究」公式ホームページ「本校研究」を作成する。
- 自己肯定感・コミュニケーション・学習意欲の向上
- 児童のコメントから、学習スタイルの工夫
- 「評価」について、更なる工夫・研究

成果として…
- 学習の軌跡の提示
- ICTや小道具を用いた意思表示
- BADモデルとGOODモデルの比較

校内研として…
- 葛藤を生む課題の設定
- グループ活動の形態の工夫
- 本来の意味を大切にした考え
- 自分の考えをもつ十分な時間
- ワークシートの活用
- ゴールの設定（日記を書く）
- 前時までの学びを振り返る
- 考えの葛藤を生む発問の工夫
- 授業の前後での変容を見るワークシート
- 自分の言葉で伝えあう
- あそびを通して語彙力を高める
- 1年生に最適な振り返り活動

クラウドでのコメント機能でつながる。

9月プロジェクト研究会⑥

会話をもとに…

話し合いの中で…

10月プロジェクト研究会⑦

学年・1年生の授業を同時間帯にした。研究会は同時で行い、それぞれの学びを共有した。

使いなれるまで時間はかかりそうだけど、使っていく中で使いなれていくなるだろう。

学校は教職員の人数が多いため人と交流させるために、本校に合った

見に行く工夫を分けました。授業の変容を通じます。

楽しみながら学ぶ中で授業力をつけていこう！

11月14日　プロジェクト研究会⑧　パワーアップ研修③

少しずつ進捗状況が5月頃に比べると少しずつ見えてきたと思います。

会話・研究会が行われました。

来年度の研究の形を決定

成果と課題より